

しもの診療所だより 5月号

今月は新型コロナワクチンのお話です。4万人の医療従事者を対象とした先行接種が2月17日より開始され、続く480万人の医療従事者への接種が3月より始まりしました。副反応として、ファイザー社製、モデルナ社製の両方で高頻度に起こった反応は「接種部位の痛み」で、70%以上に見られました。次いで倦怠感や頭痛など全身への反応、発熱なども報告が上がっています。また1回目より2回目の接種の方が高頻度で反応がみられることが分かっています。日本では、先行接種の医療従事者が記録した、健康観察日誌の中間報告も公開されています。日本でも同じく接種部位の痛みの頻度が翌日の発生で最も高く（90%）、倦怠感（16%）や発熱（3%）もありました。このことから少なくとも接種翌日にはなんらかの副反応の出現を予期しておく必要があると思われます。

ただし、いずれも平均的に3日間程度で回復が報告されています。

